

YOSANO

広報よさの

No.153

今月の表紙

きものでぶらり♪ちりめん街道

(10月21日撮影)

●主な記事

- 02 TOPICS 公共施設のこれから
- 06 平成29年度決算報告
- 13 公共交通TOPICS
- 26 第11回与謝野町駅伝競走大会

11
2018

平成28年5月に改定した「学校等の適正規模適正配置に関する基本方針〔改訂版〕」および子ども・子育て会議からの答申に基づき、平成29年8月に「与謝野町立小学校（加悦地域）再編計画」を策定しました。

この計画では、加悦地域の小学校の再編について、加悦小学校の既存校舎を活用することとし、平成32年度の再編を目指すこととしています。学校再編を進めるうえでは、保護者の方や地域の方々にていねいな説明が必要と考え、平成29年10月から今年3月にかけて、小学校・保育園の保護者とPTA役員会への説明会を延べ13回、各校区の住民の方を対象とした説明会を延べ4回開催させていただきました。説明会では、通学距離やバイパス横断などの安全面に応じてスクールバスの運行を行ってほしいとの意見が多くありましたが、再編そのものに大きな反対意見はなかったものと考えています。

しかしながら、大きな反対意見はなかったものの、小学校再編における合意形成の確認をどのように行うかが課題であり、加悦地域区長会で相談させていただき、各区で意見集約を行っていただくこととなりました。また、一部の地域から、「子どもたちの通学の

安心・安全が担保されない段階での再編同意は難しい。早急にスクールバスの運行計画を示すべきだ」との強いご要望を受け、山添町長が再編により他の校区へ通学する児童すべてを対象にスクールバスを運行する準備があることを表明し、今年8月10日に開催された加悦地域区長会において、「再編については、止む無し」とのご同意を得たところです。

現在の状況

この再編同意を受け、今年10月19日に「加悦地域学校づくり準備協議会」を発足しました。今後、平成32年度の再編に向け、学校名や校歌、スクールバスの運行計画などの再編後の学校運営に必要な多くの事柄を協議していただきます。現在の小さい規模の小学校が決して好ましくないわけではありませんが、今後少子化がさらに進み、子どもたちの教育環境の整備を最優先として判断するうえで、子どもたちにとってより良い教育環境づくりに向けた協議を進めていきたいと考えています。学校づくり準備協議会での協議結果などにつきましては、「協議会だより」を随時発行させていただきます。地域の方々への周知を図っていきます。

子ども・子育て会議で熟議

全国的に急速な少子化が進み、就労環境の変化や家庭環境の変化などがみられる中、国の子ども・子育て支援新制度が開始されました。それを受け、与謝野町でも平成25年度に設置した子ども・子育て会議での度重なる議論（子ども・子育て会議20回、認定こども園視察1回、保護者等意見交換会6回、パブリックコメント1回）を経て、平成27年3月に、平成27年から31年の5カ年間の計画として「与謝野町子ども・子育て支援事業計画」（以下「支援事業計画」）を策定しました。

この支援事業計画では、就学前の教育・保育を一体的に進めることができる幼保連携型認定こども園を整備することとしています。

幼保連携型認定こども園とは、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設で、0歳児から就学前の児童を対象に3歳までの児童には保育を行い、3歳以上の児童には保護者の就労（お仕事）に関係なく、幼児教育と保育を行う施設となっています。

整備計画の検討

支援事業計画では、平成31年度まで

に、岩滝・加悦・野田川の3地域にそれぞれ1カ所ずつ、認定こども園を整備することとしており、すでに岩滝地域では、平成29年の7月末に新園舎において新たなスタートを切りました。

加悦・野田川地域については、小学校の統廃合や新園舎の建設場所などの調整のために、計画期間内の平成31年度までに新園舎を整備することはいったん見送り、子ども・子育て会議の検討を経て、新たに「与謝野町幼保連携型認定こども園整備計画（案）」を作成し、平成29年10月、与謝野町議会に「学校等の適正規模適正配置に関する基本方針」、財政的観点から見た「子育て教育施設等まちづくり再編整備計画（案）」と併せて計画案の説明を行いました。その後、区長会、各保育所・園・幼稚園・小学校の保護者、地域の皆さまへ、延べ35回の説明を行い、いただいたご意見を基に一部修正をかけ、正式に「与謝野町幼保連携型認定こども園整備計画」（以下、「整備計画」として位置づけました。

計画（案）への主なご意見

与謝野町幼保連携型認定こども園整備計画（案）の説明の中でいただいた

TOPICS 公共施設のこれから

与謝野町には、多数の公共施設があります。3つの町が合併しているため、中には同じような用途の建物もあり、合併当初から、町に見合う施設のあり方を検討することは大きな課題でした。

そこで、いわゆる「ハコモノ」と呼ばれる197の施設（学校・保育所・体育館・各種集会施設・観光施設など）について調査した結果、約60%の施設が築30年以上経過しており、今後30年で耐用年数を超過する施設（すでに耐用年数を超過している施設も含む）は139施設となることがわかりました。また、その全てを維持しながら建て替えるには約157億円の財源が不足すると試算しており、今後の与謝野町における公共施設のあり方を、早急に考えなければならない状況にあります。

そこで今回、まずは全体計画ともいえる「与謝野町公共施設等総合管理計画」について、次に「小学校」「認定こども園」「体育館や公民館・図書館などの社会教育施設」別に当面の計画や考え方などについてお知らせし、町民の皆さまと一緒に「公共施設のこれから」について考えていきたいと思います。

1 重複・類似施設の統廃合は喫緊の課題

与謝野町公共施設等総合管理計画

合併前に作成した「新町まちづくり計画」や「第1次与謝野町総合計画」では、「機能的に重複・類似している公共施設については統合等を検討する」と明記されており、この問題は早くから大きな課題として認識されていたが、具体的な方針を立てることができていない状況でした。

しかし、現在の公共施設数を維持し続けるためには財源が不足することが明らかになったため、「単なる建て替え」という手法と異なる発想で公共施設について考えていく必要があります。

公共施設等総合管理計画

与謝野町では、平成27年9月に「与謝野町公共施設白書」を作成して現状把握と将来見通しを立て、「与謝野町公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」）を策定しました。総合管理計画では公共施設の総量やコストの抑制を図ることを方針としており、具体的には「施設を整備する際には公共用地を基本とする」「重複・老朽化している施設の廃止や撤去を検討する」などということになります。

総合管理計画は基本計画と実施計画から成っており、平成28年9月に

策定した基本計画では、今後30年間で耐用年数に到達する公共施設を建て替えて維持した場合のコストを815・8億円、公共施設に回せる財源を658・3億円としており、差し引き157・5億円の財源不足が生じると試算しました。

この157・5億円の解消のために各公共施設の今後の方針を示した実施計画を平成30年3月に策定し、公表しました。実施計画では与謝野町が保有する公共施設の個別の方針を示しており、公共施設の廃止や統合、長寿命化などによって得られる効果額を積み上げると基本計画で示した財源不足額157・5億円の解消に繋がるとしています。なお、これらの計画は与謝野町ホームページで公開しています。

行政改革推進委員会からの意見

基本計画・実施計画については、いずれも諮問機関である「与謝野町行政改革推進委員会」で意見をいただきました。その際に「公共施設の統合などにより不利益を被る利用者もおられますが、町の行財政全体にとっては効果的であり、一人一人の利益に繋がるということを丁寧に説明してほしい」

のご意見をいただいています。実施計画で示しているのはおおまかな方針でありますので、個別の計画を実施する際には、さらなる検討とていねいな説明を行うことで、町民の皆さまに理解を深めていただくよう努めてまいります。

町の財政状況

与謝野町の財政状況に目を向けると、平成29年度決算は合併後初めて財政調整基金（町の貯金）を2億円取り崩すという非常に厳しいものになりました。現状のままでは今後も基金を取り崩していかなければなりません。人口減少とそれに伴う財政規模の縮小が見通される中、与謝野町全体の公共施設のあり方を早急に考えなければならぬ状況にきています。

そのような中、子育て・教育施設の再編は、今後の町財政に大きな影響があることから、「子育て教育施設等まちづくり再編整備計画（案）」を立てるとともに、「認定こども園・小学校統合を反映した財政見直し」を立て、一定の効果につながるのを試算を行い、以降に掲げる「与謝野町立小学校（加悦地域）再編計画」「与謝野町幼保連携型認定こども園整備計画」および「教育施設統廃合の基本的な考え方（案）」を進めることが望ましいと判断しています。

2 適正な規模への再編

与謝野町立小学校（加悦地域）再編計画

安心・安全が担保されない段階での再編同意は難しい。早急にスクールバスの運行計画を示すべきだ」との強いご要望を受け、山添町長が再編により他の校区へ通学する児童すべてを対象にスクールバスを運行する準備があることを表明し、今年8月10日に開催された加悦地域区長会において、「再編については、止む無し」とのご同意を得たところです。

現在の状況

この再編同意を受け、今年10月19日に「加悦地域学校づくり準備協議会」を発足しました。今後、平成32年度の再編に向け、学校名や校歌、スクールバスの運行計画などの再編後の学校運営に必要な多くの事柄を協議していただきます。現在の小さい規模の小学校が決して好ましくないわけではありませんが、今後少子化がさらに進み、子どもたちの教育環境の整備を最優先として判断するうえで、子どもたちにとってより良い教育環境づくりに向けた協議を進めていきたいと考えています。学校づくり準備協議会での協議結果などにつきましては、「協議会だより」を随時発行させていただきます。地域の方々への周知を図っていきます。

3 少子化による子育て環境の変化に対応

与謝野町幼保連携型認定こども園整備計画

子ども・子育て会議で熟議

全国的に急速な少子化が進み、就労環境の変化や家庭環境の変化などがみられる中、国の子ども・子育て支援新制度が開始されました。それを受け、与謝野町でも平成25年度に設置した子ども・子育て会議での度重なる議論（子ども・子育て会議20回、認定こども園視察1回、保護者等意見交換会6回、パブリックコメント1回）を経て、平成27年3月に、平成27年から31年の5カ年間の計画として「与謝野町子ども・子育て支援事業計画」（以下「支援事業計画」）を策定しました。

この支援事業計画では、就学前の教育・保育を一体的に進めることができる幼保連携型認定こども園を整備することとしています。

幼保連携型認定こども園とは、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設で、0歳児から就学前の児童を対象に3歳までの児童には保育を行い、3歳以上の児童には保護者の就労（お仕事）に関係なく、幼児教育と保育を行う施設となっています。

整備計画の検討

支援事業計画では、平成31年度まで

代表的な質疑応答は次のとおりです。

▼与謝保育園で、送迎バスを出してほしいとの要望がありました。従来どおり保護者の送迎をお願いしました。

▼加悦地域の新園舎の建設に際しては、桑飼小学校の周辺の道路が狭いことから、アクセス道路の新設を要望する声が多くあり新たなアクセス道の設置を検討することをお伝えしました。

▼現在各園で開園時間が違うが、どうなるのかという意見があり、認定子ども園については統一する旨をお伝えしました（午前8時～午後7時（午前7時半からの早朝保育あり）に統一）。

▼三河内幼稚園の開園につきまして、「現在の3歳児を三河内幼稚園で卒園させてほしい」との強い要望を受け、開園を1年延ばしました。

▼園が統合すると人数が増えることで、送迎時の混雑が心配であるとの意見や、野田川地域の現在の人数の推測値から定員の250人に対して、多すぎて心配だとする意見が多くありました。定員については、今後の子どもの人数の推移によって見直すことをお伝えしました。

整備計画について

新しく整備する認定こども園の規模や場所などについて、加悦地域こども園（仮称）の新園舎は、平成33年度の開園を目指し、定員は180人程度と

4 今後の社会教育施設のあり方
～教育施設統廃合の基本的な考え方（案）～

これまでの各種計画では、「中央公民館」「野田川体育館」「学校給食センター」「与謝野町商工会本所」の敷地を野田川地域における「こども園新園舎」の計画地としています。

これを受け、教育委員会では総合管理計画の方針に基づき「重複・老朽化している施設の廃止や撤去を検討する」を前提としながら、「教育施設統廃合の基本的な考え方（案）」（以下「考え方（案）」をまとめ、3回の説明会（施設利用者向け2回、一般向け1回）を開催してきました。（※説明会での主な質疑につきましては、与謝野町ホームページで公開しています）。また現在、施設利用の皆さまとは協議を進めているところです。今回、考え方（案）の中から社会教育施設についての概要をお知らせいたします。

また、加悦地域の学校統合により、現在加悦小学校の空き教室を活用して開設している加悦学童保育の移転が必要となるため、その開設場所につきましても併せて検討しています。

■中央・地域公民館を知遊館に統合
《中央公民館について》

一般利用は中止し、施設を取り壊す予定としています。代替施設の建設計

しています。これは岩滝地域の「かえでこども園」と同じ規模となります。また、計画地は桑飼小学校の敷地内としています。この計画地の選定については、総合管理計画の方針に基づき「公共用地を基本とする」「重複・老朽化している施設の廃止や撤去を検討する」を前提としながら、位置的条件や交通アクセスなどを検討する中、加悦地域の小学校の統廃合が平成32年度に実施される予定であることを踏まえて、閉校後の桑飼小学校の敷地を活用したいと考えています。

野田川地域こども園（仮称）の新園舎は、平成34年度の開園を目指し、定員は現在の人口推定値から250人規模としています。しかし、今後の就学前の児童の人口の推移などにより、定員の見直しも想定しています。また、計画地としては、加悦地域と同様の選定方法に基づき、現在の「中央公民館」「野田川体育館」「学校給食センター」「与謝野町商工会本所」の敷地の活用を考えています。

なお、新園舎の整備ができるまでの施策として、平成31年3月末に加悦保育園と市場保育所を閉園し、それぞれの園舎を活用して、加悦地域は与謝保育園と統合し「かやこども園（仮称）」を、野田川地域は三河内幼稚園の閉園を見こして、「のだがわこども園（仮称）」を開園する予定としています。

画はありませんので、現在ご利用の皆さまには既存の町施設や地区公民館などをご利用いただきたいと考えています。《加悦地域公民館について》
一般利用は中止し、1階は主に学童保育施設と図書館として、2階を主に図書館の機能拡大の場所として活用していきたいと考えています。

加悦学童保育の移転先として、学校からの距離・必要面積などを勘案した場合、加悦地域公民館のホールが最適であると判断し、ホールを中心に新たな学童保育を運営していきたいと考えています。また、現在の図書館加悦分室に加えて2階部分も活用し、図書館野田川分室の蔵書の受け入れを行いたいと考えています。これにより、一般貸し出し可能な部屋がはなくなるため、現在ご利用の皆さまには、既存の町施設や地区公民館などをご利用いただきたいと考えています。

《公民館活動について》

中央・地域公民館は知遊館に統合しますが、子どもたちの土曜日などの講座や高齢者教室などは継続して地域ごとに実施したいと考えています。

■野田川体育館を廃止
■体育施設の受付窓口を統合

《野田川体育館について》

一般利用は中止し、施設を取り壊す予定としています。代替施設の建設計画はありませんので、現在ご利用の皆さまには、既存の体育館をご利用いただきたいと考えています。

《体育施設の受付窓口について》

現在の地域ごとの受付窓口を岩滝体育館に統合したいと考えています。窓口統合に伴い、窓口まで行かなくても申請できる仕組み（FAXやスマートフォン）の活用など）を検討していきます。鍵の受け渡しは、引き続き地域ごとに行うようにしたいと考えています。が、野田川地域の受け渡し場所を、中央公民館から役場野田川庁舎に変更する予定です。

■図書館加悦谷館（仮称）を設置

図書館加悦分室と野田川分室を統合し、蔵書を充実させた「図書館加悦谷館（仮称）」を設置したいと考えています。

「図書館加悦谷館（仮称）」は、最終的には野田川地域に設置したいと考えていますが、開設場所が決定するまでは、加悦分室を拡充（既存の1階部分に加え2階に閲覧室を設置など）し、仮の施設として運営したいと考えています。野田川地域における開設場所や時期については、今後の調整となります。

■幼保連携型認定こども園施設整備スケジュール

		H 30 年度	H 31 年度	H 32 年度	H 33 年度	H 34 年度	
		計 画 期 間					
岩滝地域	かえでこども園	H 29 年 7 月末から新園舎で運営					
加悦地域	加悦保育園	H 30 年度 末 閉園予定	H 31 年度から 「かやこども園（仮称）」 を加悦保育園にて 統合・開園予定		H 33 年度から 新園舎にて 統合・開園予定		
	与謝保育園						
	桑飼保育園						H 32 年度末閉園予定
野田川地域	三河内幼稚園	H 31 年度末閉園予定		H 31 年度から「のだがわこども園（仮称）」を市場保育所にて移行し開園予定（三河内幼稚園は H 32 年度に統合）		H 34 年度から新園舎にて 統合・開園予定	
	市場保育所	H 31 年度 末閉園予定					
	山田保育所	H 33 年度末閉園予定					
	石川保育所						

■その他

施設の利用中止時期などは今後の調整となりますが、平成32年春には加悦地域の学校統合が行われ、各種施設の取り壊し作業にも着手していく必要があるため、それまでに、具体的な利用中止時期を決定していきたいと考えています。なお、建設予定地にある「学校給食センター」「与謝野町商工会本所」については、それぞれに協議などが行われています。

与謝野町では持続可能なまちを目指し、身の丈にあった施設のあり方を模索しています。住民の皆さまにはご不便をおかけする場合もあるとは思いますが、ご理解、ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

みなさまのご意見を受け付けています

今回ご紹介した計画などにつきましてご意見などございましたら、11月30日（金）までに、郵便、FAX、メール、または直接各庁舎へ持参していただきますようお願いいたします。

提出先

〒 629-2292 与謝野町字岩滝 1798-1
与謝野町役場 企画財政課（本庁舎 2 階）
F A X ／ 46-4630
メール／ kikakuzaisei@town.yosano.lg.jp
※ 電話、口頭での受付には応じかねます。

平成29年度
与謝野町
決算

平成29年度の一般会計・特別会計・公営企業会計の決算について、9月定例会に議案提出し、全会計とも認定されました。

一般会計の歳入決算額は、前年度から4.3%減の125億982万円となり、翌年度への繰越財源分を差し引いた純繰越額（実質収支）は、前年度から1482万円多い2496万円の黒字となりましたが、決算の内訳を見ると台風による災害の影響のほか、合併算定替えの終了に伴う普通交付税の縮減などの影響により財政調整基金を2億円取り崩すなど非常に厳しい決算となりました。そのほかの特別会計につきましても全て黒字決算となっています。

■一般会計

会 計	歳 入	歳 出	翌年度に繰越すべき財源	実質収支
一般会計	125 億 982 万円	124 億 4,378 万円	4,109 万円	2,496 万円

■特別会計

会 計	歳 入	歳 出	翌年度に繰越すべき財源	実質収支
宅地造成事業会計	996 万円	996 万円	0 万円	0 万円
下水道会計	16 億 4,122 万円	16 億 4,087 万円	0 万円	34 万円
農業集落排水会計	4,127 万円	4,123 万円	0 万円	4 万円
介護保険会計	(事業勘定)	27 億 721 万円	26 億 9,888 万円	0 万円
	(サービス勘定)	1,361 万円	1,361 万円	0 万円
土地取得会計	42 万円	8 万円	0 万円	34 万円
国民健康保険会計	(事業勘定)	30 億 4,060 万円	30 億 3,705 万円	0 万円
	(直診勘定)	6,389 万円	6,388 万円	1 万円
後期高齢者医療会計	2 億 7,824 万円	2 億 7,370 万円	0 万円	454 万円
財産区会計	9,472 万円	2,207 万円	0 万円	7,265 万円

※端数整理のため表内計等が一致しないものがあります。

■公営企業会計（水道事業会計）

	収益的収入	収益的支出	損益計算により
収益的収支および支出	6 億 9,294 万円	4 億 4,152 万円	2 億 6,062 万円

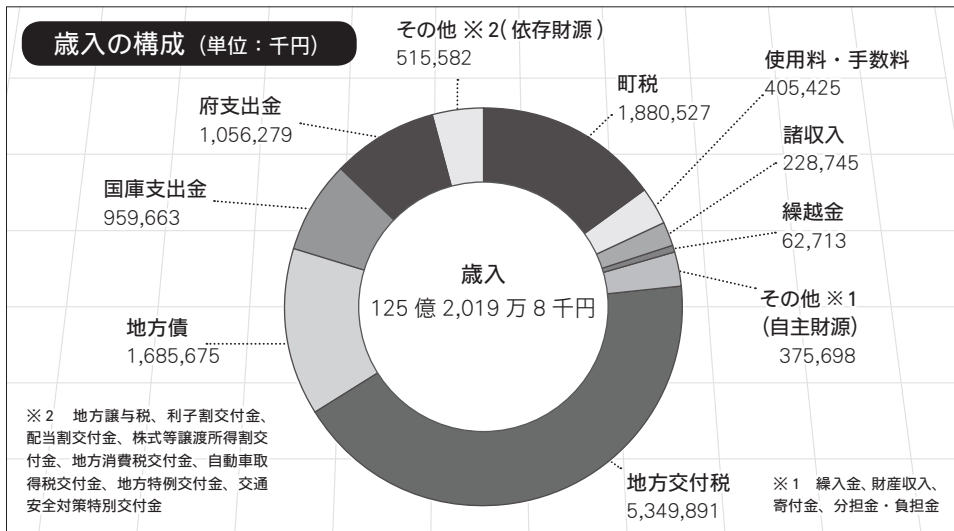
	資本的収入	資本的支出	不足額
資本的収支および支出	1 億 3,800 万円	3 億 558 万円	△ 1 億 6,758 万円

※資本的収支不足額は、過年度分損益勘定留保資金および消費税資本的収支調整額で補てんしています。

歳入（町に入ったお金）の状況：普通会計

歳入・歳出決算の状況を、地方財政統計上、統一的に用いられる普通会計によりグラフ化し説明します。

※普通会計：一般会計、宅地造成事業特別会計、土地取得特別会計を純計したものです。



歳入の財政状況		項 目	金額（千円）	構成比 (%)	増減率 (%)
	自主財源 (23.6%)	町 税	1,880,527	15.0	0.8
		使用料・手数料	405,425	3.2	3.0
		諸収入	228,745	1.8	4.3
		繰越金	62,713	0.5	△ 53.5
		その他（自主財源）※ 1	375,698	3.0	102.4
	依存財源 (76.4%)	地方交付税	5,349,891	42.7	△ 2.2
		地方債	1,685,675	13.5	△ 25.0
		国庫支出金	959,663	7.7	△ 23.1
		府支出金	1,056,279	8.4	30.5
		その他（依存財源）※ 2	515,582	4.1	△ 0.4
	合 計		12,520,198	100.0	△ 4.3

※1 繰入金、財産収入、寄付金、分担金・負担金 ※端数整理のため表内計等が一致しないものがあります。

※2 地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金

■町税の内訳（単位：千円）

税 目	29 年度税額	28 年度比較	増減率 (%)
市町村民税	853,136	12,969	1.5
固定資産税	823,111	7,254	0.9
軽自動車税	73,273	1,790	2.5
市町村たばこ税	131,007	△ 6,335	△ 4.6
都市計画税	0	△ 12	△ 100.0
合 計	1,880,527	15,666	0.8

■町税の徴収率（単位：％）

税 目	29 年度			28 年度		
	全体	現年分	滞納繰越分	全体	現年分	滞納繰越分
市町村民税	97.5	99.1	36.7	97.2	99.0	39.9
固定資産税	94.8	98.9	22.2	94.3	98.9	18.9
軽自動車税	95.3	98.5	20.0	95.4	98.6	24.2
市町村たばこ税	100.0	100.0	—	100.0	100.0	—
都市計画税	0	0	0	33.3	0	33.3
合 計	96.4	99.0	26.6	96.0	99.0	26.2

■歳入決算状況

町の歳入で一番大きな割合を占める普通交付税は、合併から10年間については旧3町が存続したものとみなして算定され交付されていましたが、平成28年度からはこの特例措置の終了により5年間をかけて段階的な縮減が始まっています。平成29年度の縮減額は、約1億3000万円となり、使途を特定せず自由に扱える町の一般財源が大きく減少しています。

また、歳入の全体の状況を見てみると、平成29年度の普通会計歳入総額は125億2019万8千円となり、前年度と比較し5億6741万7千円（△4.3%）減少しています。かえでこども園の新築工事、岩滝小学校のトイレ改修工事、加悦中学校改築工事などの大規模事業の完了による、町債（町の借金）の借入額が前年度から5億6058万

円（△25.0%）減少したほか、国庫支出金についても同様に前年度から2億8749万5千円（△23.1%）減額となっています。

町税につきましては、税率の低い加熱式たばこの普及の影響から市町村たばこ税が前年度から633万5千円減少となる一方、市町村民税、固定資産税、軽自動車税が増額となり、町税全体では前年度から1566万6千円（0.8%）増となっています。

町税の徴収率については、町税全体で96.4%の決算となっており、前年度と比較し0.4ポイント改善しています。また、特徴的なこととしては、普通交付税の縮減や災害復旧の影響もあり合併後初めて財政調整基金を2億円取り崩したほか、地域振興基金や産業振興基金など特定目的基金から6183万6千円を取り崩しています。

性 質 別 内 訳 (単位：千円)

①人件費		17 億 8,397 万円 17 億 8,205 万 5 千円
②扶助費		15 億 3,590 万 1 千円 15 億 6,115 万 7 千円
③公債費		15 億 9,842 万 9 千円 16 億 4,514 万 5 千円
④繰出金		19 億 3,059 万 9 千円 20 億 8,793 万 6 千円
⑤物件費		19 億 8,303 万 2 千円 19 億 7,445 万 6 千円
⑥補助費等		18 億 5,678 万 3 千円 14 億 976 万 1 千円
⑦投資的経費		16 億 9,079 万 7 千円 24 億 3,688 万 9 千円
⑧その他		7,430 万 8 千円 1 億 2,271 万 8 千円

項 目		金額（千円）	構成比（％）	増減率（％）	内 容
義務的経費	人件費	1,783,970	14.3	0.1	職員給与、議員報酬、各種委員報酬など
	扶助費	1,535,901	12.3	△ 1.6	児童手当、障害者自立支援給付費、老人ホーム入所措置費など
	公債費	1,598,429	12.8	△ 2.8	借金の返済元金
繰出金		1,930,599	15.5	△ 7.5	下水道、介護保険、国民健康保険などの特別会計への繰出金
物件費		1,983,032	15.9	0.4	賃金、旅費、備品購入費、委託料、消耗品費、修繕料など
補助費等		1,856,783	14.9	31.7	宮津与謝消防組合への負担金、まちづくり人づくり補助金、地方バス路線運行維持支援、各種団体への補助金など
投資的経費		1,690,797	13.6	△ 30.6	町道新設改良事業、中学校施設整備事業などの建設費や災害復旧事業費
その他		74,308	0.7	△ 39.4	貸付金、基金への積立金、維持補修費
合 計		12,453,819	100.0	△ 4.3	

※端数整理のため表内計等が一致しないものがあります。

■歳出決算状況

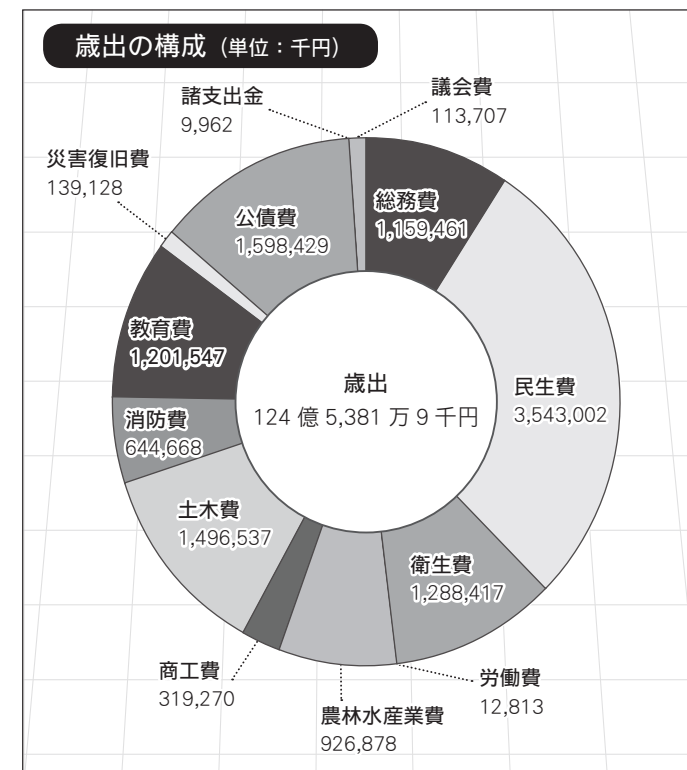
歳出総額は、124億5381万9千円となり、前年度と比較し5億629万8千円（△4.3％）減少しています。投資的経費においては、13億円を超える加悦中学校の校舎棟が完成したことにより減額となる一方、新たな整備事業として有機物供給施設の新肥料プラントの整備、冷凍米飯加工施設の増設、台風による災害復旧事業に取り組むなど投資的経費の総額は7億4609万2千円（△30.6％）減少しています。

補助費等については、広域ごみ処理施設の宮津与謝環境組合負担金の増加や橋立中学校のエアコン整備による中学校組合負担金の増加などにより昨年から4億4702万2千円（31.7％）増加しています。また、支出が制度的に義務付けられている人件費・扶助費・公債費の義務的経費は、扶助費と公債費が減少したことにより前年度から1.4％減少しています。

歳入の決算状況でも触れましたが、平成29年度は財政調整基金を2億円取り崩す大変厳しい財政状況となっています。平成33年までは普通交付税の縮減が続くほか、今後は人口減少による税収の減少も見込まれ、ますます厳しくなる状況が予測されます。そのため平成30年3月に策定した「与謝野町公共施設等総合管理計画（実施計画）」に従い、公共施設の長寿命化・複合化・集約化・廃止などの合理化を図り、持続可能な行財政運営を目指す必要があります。

歳出（町が使ったお金）の状況：普通会計

普通会計歳出総額 124 億 5,381 万 9 千円



項目	決算額（千円）	構成比（％）	前年度比較	増減率（％）
議会費	113,707	0.9	△ 1,403	△ 1.2
総務費	1,159,461	9.3	△ 11,658	△ 1.0
民生費	3,543,002	28.4	△ 76,592	△ 2.1
衛生費	1,288,417	10.3	291,333	29.2
労働費	12,813	0.1	△ 5,455	△ 29.9
農林水産業費	926,878	7.4	497,654	115.9
商工費	319,270	2.6	△ 47,899	△ 13.0
土木費	1,496,537	12.0	28,770	2.0
消防費	644,668	5.2	△ 34,921	△ 5.1
教育費	1,201,547	9.6	△ 1,298,538	△ 51.9
災害復旧費	139,128	1.1	139,128	皆増
公債費	1,598,429	12.8	△ 46,716	△ 2.8
諸支出金	9,962	0.1	△ 1	0.0
合計	12,453,819	100.0	△ 566,298	△ 4.3

※端数整理のため表内計等が一致しないものがあります。

平成 29 年度に行った主な事業

与謝野町総合計画の後期基本計画に掲げるまちづくりの基本目標に基づき、以下の事業に取り組みました。

快適でやすらぎのある生活環境づくり

有線テレビ施設整備事業	13,904 千円
町営バス運行事業	6,651 千円
道路維持補修事業	110,589 千円
高齢者運転免許証自主返納者支援事業	1,700 千円



自然と安全を守るまちの基盤づくり

宮津与謝環境組合負担金	431,820 千円
河川改修事業	97,925 千円
宮津与謝消防組合負担金	418,061 千円
消防施設等整備事業	51,253 千円
災害復旧事業	125,836 千円



明日の人材を育成する教育文化のまちづくり

与謝野みらい大学事業	7,890 千円
認定こども園施設整備事業	309,700 千円
中学校施設整備事業	173,613 千円
青少年育成事業	1,576 千円



伝統を生かした未来にチャレンジする産業づくり

自然循環型農業推進事業	12,877 千円
与謝野町農業モデル確立事業	11,895 千円
有機物供給施設管理運営事業	234,920 千円
冷凍米飯加工施設管理運営事業	114,062 千円
織物振興対策事業	36,762 千円
与謝野ブランド戦略事業	25,267 千円
海の京都美心与謝野事業	12,012 千円



安心と生きがいのある福祉のまちづくり

介護福祉士資格取得研修事業	750 千円
障害者福祉計画策定事業	1,031 千円
放課後児童健全育成事業	56,254 千円



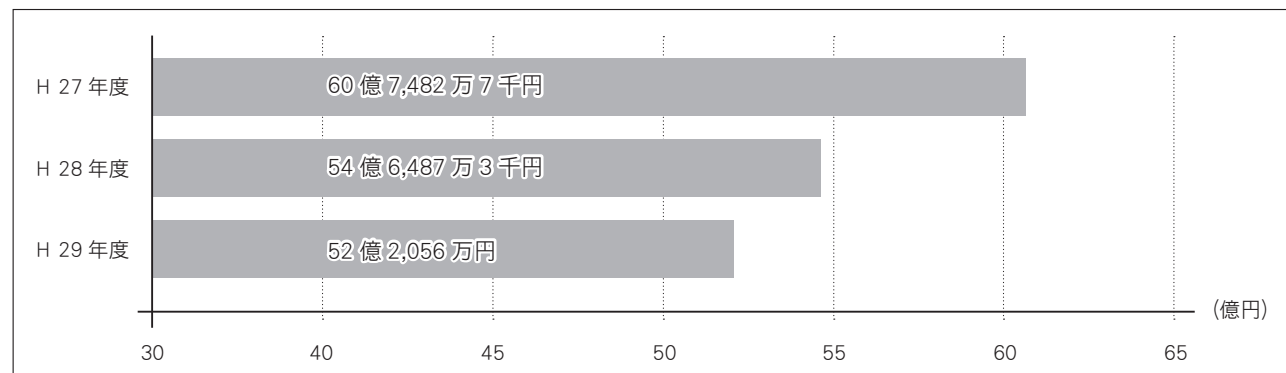
協働で進めるまちづくり

総合計画策定事業	1,837 千円
住民自治活動支援事業	9,784 千円
命の里事業	3,000 千円



基金残高の推移（28年度から2億4,431万3千円の減額）

グラフは、財政調整基金、減債基金、特定目的基金、特別会計基金残高総額の推移。



■各基金残高の前年度比較

基金名	29年度末残高 (千円)	28年度末残高 (千円)	増減率 (%)
財政調整基金	1,830,823	2,024,130	△ 9.6
減債基金	492,681	492,287	0.1
特定目的基金	2,631,470	2,687,831	△ 2.1
特別会計基金	265,586	260,625	1.9
合 計	5,220,560	5,464,872	△ 4.5

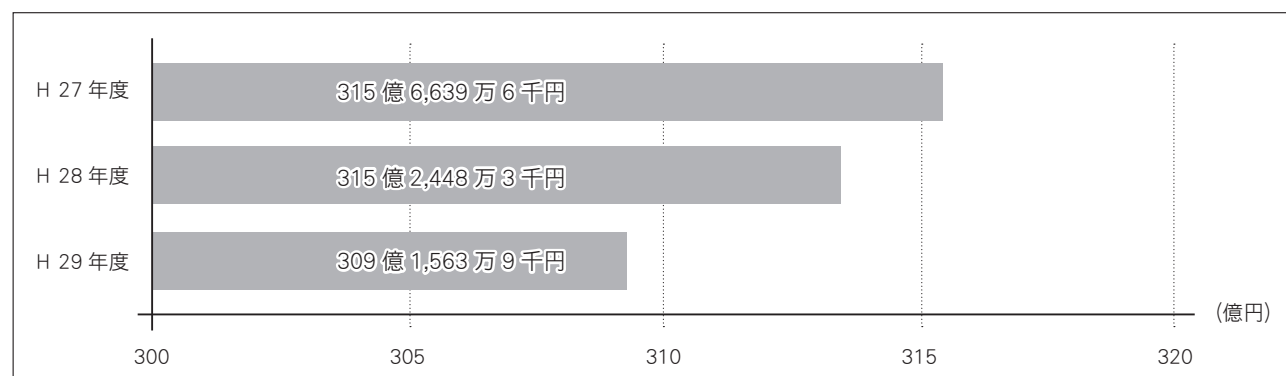
※端数整理のため表内計等が一致しないものがあります。

■29年度の主な基金の減額

基金名	基金減額 (千円)
財政調整基金	△ 193,307
地域振興基金	△ 8,497
産業振興基金	△ 26,428
有線テレビ放送等施設基金	△ 5,386

町債残高の推移（28年度から6億884万4千円の減額）

グラフは、一般会計、特別会計、公営企業会計の町債残高総額の推移。



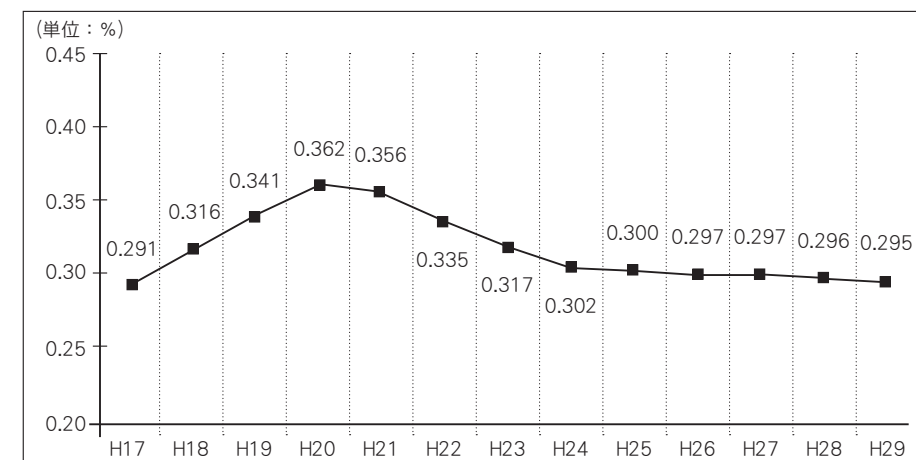
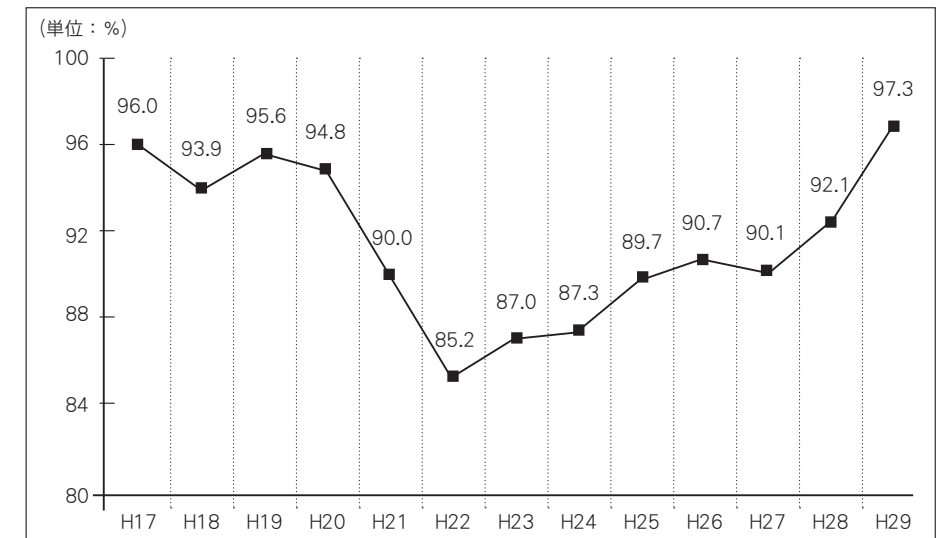
■各会計の町債残高の前年度比較

会 計	内 訳	29年度末残高 (千円)	28年度末残高 (千円)	増減率 (%)
一般会計	合併特例債	6,036,015	5,729,011	5.4
	臨時財政対策債	5,567,986	5,641,913	△ 1.3
	その他事業債	2,795,976	2,834,037	△ 1.3
	一般会計合計	14,399,977	14,204,961	1.4
特別会計	簡易水道特別会計	—	6,113,658	皆減
	下水道特別会計	9,725,521	10,218,601	△ 4.8
	農業集落排水特別会計	230,296	245,560	△ 6.2
企業会計	水道事業会計	6,559,845	741,703	784.4
合 計		30,915,639	31,524,483	△ 1.9

経常収支比率と財政力指数の状況：普通会計

■経常収支比率

経常収支比率とは財政構造の弾力性を判断するための指標で、町税、交付税のように使途が特定されず毎年度経常的に収入される財源（経常一般財源）のうち人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常経費）に充当されたものの占める割合です。80%を超えると弾力性を失いつつあると考えられています。



■財政力指数

財政力指数は地方公共団体の財政力を示す指数として用います。財政力指数が高いほど自主財源の割合が高いことを示し、財源に余裕があることになります。財政力指数が単年で1を超える場合には、自立して財政運営できることを示し、普通交付税の不交付団体となります。

財政健全化判断比率、資金不足比率の状況

■平成29年度の財政健全化判断比率、資金不足比率

平成29年度の財政健全化判断比率〔実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率（3ヵ年平均）、将来負担比率および資金不足比率〕は、いずれの数値も早期健全化基準内となりました。

現時点では、健全な財政運営と言えますが、今後さらに厳しい財政状況が想定されるため、健全な財政運営に引き続き務めていく必要があります。

▽財政健全化比率

財政健全化比率	29年度 (与謝野町)	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	13.9	20.0
連結実質赤字比率	—	18.9	30.0
実質公債費比率	14.9	25.0	35.0
将来負担比率	105.5	350.0	—

▽資金不足比率

資金不足比率	29年度 (与謝野町)	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0
下水道特別会計		
農業集落排水特別会計		

バス路線の見直し検討がスタート！

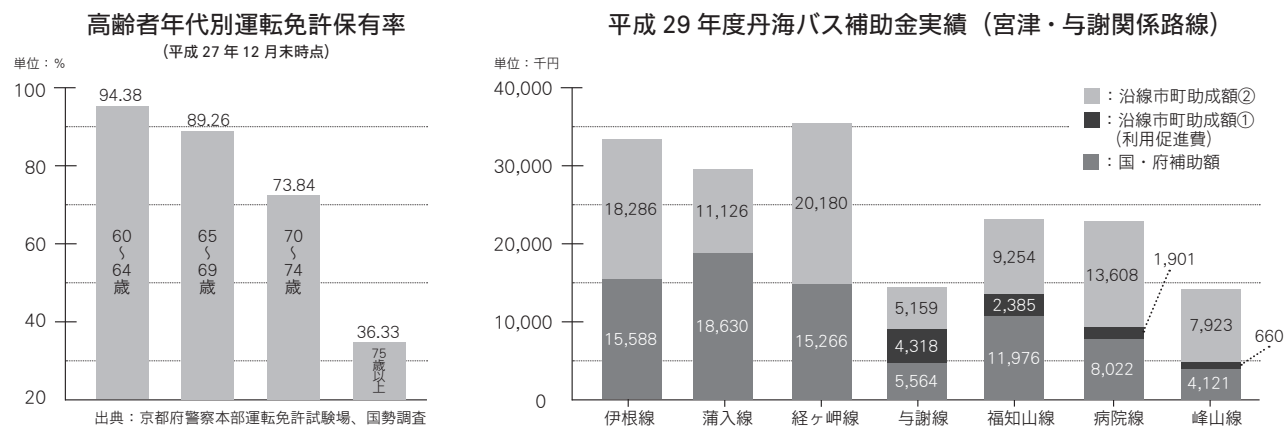
人口減少社会において、住民の生活に必要なバスなどの公共交通のあり方について、10月23日から「与謝野町地域公共交通会議」で検討が始まりました。この日は公共交通の現状と課題を確認し、今後の議論の進め方などが話し合われました。

公共交通を取り巻く現状と課題

与謝野町では、運転免許証を保有していない高齢者や障害者、お一人では移動が困難で支援を必要とされる方などを中心に路線バスやコミュニティバスひまわりなどが利用されています。

しかし、これらの公共交通は行政による支援なくしては維持確保ができない状況が長年続いているこ

と、行政の厳しい財政状況、人口減少による需要の減少、サービスを提供する担い手（運転手）の減少という現状がある一方で、ますます進む高齢化社会において高齢者などにも便利な移動サービスの提供が求められるなど、さまざまな課題に直面しています。



目指すは『持続可能な、超高齢社会に対応した公共交通』



このようにさまざまな課題が山積していても、公共交通の最大の使命である「地域住民の移動手段の確保」を目指して課題解決に向けた取り組みを進める必要があります。地域公共交通会議では、①持続可能な地域公共交通の確立に向けた対応が必要として、利用者ニーズへの対応と公共交通網の生産性の向上を図ること、また②超高齢社会に向けた対応が必要として、高齢者が利用しやすい交通手段の検討（ラストワンマイルへの対応）、地域で移動を支え合う仕組みづくりを取り組みの方向性として決定されました。

まずは路線バスの見直しから

この方向性を踏まえ、課題解決に向けた検討の手順として、既存の交通機関の見直しを進めることとし、まずは丹後海陸交通株式会社が運行する路線バスの見直し、次にフィーダー（支線）輸送であるコミュニティバスひまわり（町営）の見直しを検討することになりました。

委員からは、公共交通以外の介護タクシーや病院など民間事業者の独自の無料送迎などの移動手段もあるため、公共交通の対象とすべきニーズやターゲットの整理の必要性、独居や運転免許を持たない高齢者の人数・居住地などの情報を把握しそれぞれのニーズに対応できるようにしたい、町財政と両立する公共交通を目指したいなどの意見が出されました。



朝の岩滝バス停

地域公共交通会議では引き続き議論を深めていきます。持続可能な、超高齢社会に対応した公共交通の実現を目指して、みなさんも一緒に考えていきましょう。

会議の内容や資料、今後の会議の予定については与謝野町HP（http://www.town-yosano.jp/wwwg/info/detail.jsp?common_id=469237）をご覧ください。

07

普通会計決算を一般家庭の家計簿に例えると…

よさのさんの家計簿を見てみましょう



金額が大きく、使用される用語も難しい、町の決算内容。単純に比べることはできませんが、平成29年度普通会計歳入決算額125億2,019万8千円を、年収450万円の「よさのさん」の家計に置き換えて例えてみます。

収入計：4,500,000 円	支出計：4,477,000 円
・給料・パート収入等 967,000 円	・食費等 641,000 円
・預金引き出し 94,000 円	・医療費等 552,000 円
・祖父母からの仕送り 2,833,000 円	・ローン返済 575,000 円
・ローンの借入金 606,000 円	・家の増改築・修繕、家具・家電購入 626,000 円
	・子どもへの仕送り 1,367,000 円
	・預金積立 3,000 円
	・光熱水費・日用品購入 713,000 円

決算意見書から（総括）

山添町政一期末の最終年度となる平成29年度は、与謝野町町民憲章にうたわれたまちの将来像「水・緑・空 笑顔かがやくふれあいのまち」を実現するために「みんなの知恵と技術で、新たな価値を生み出すまちづくりの推進」を基本として、過去3年間種を蒔き、水をやり、大きなうねりとなるまで進めてきた各種事業が花を開き、「楽しみを生み出す年」として、就任以来推進してきた「6つの政策」を柱として重点的に取り組まれてきた。

また、広域ごみ処理施設整備事業、有機物供給施設管理運営事業など、町民の暮らしに直接関わる各種ハード面の整備に引き続き取り組みとともに、「第2次与謝野町総合計画」を従来手法から脱却し、多くの町民や町職員の協力を得て策定、また合併以来課題となっていた今後の公共施設のあり方について「与謝野町公共施設等総合管理計画（実施計画）」を策定された。ブランド戦略事業を町民のみなさまに知っていただく、さらには参画していただけるよう、かね新聞「うちのまち」の発行、「与謝野ブランド戦略シンポジウム」の開催、妊娠期から子育て期における切れ目のない支援事業を実施する「子育て世代包括支援センター」の設置、幅広い教養の習得のほか、起業家や地域の課題解決につながる人材育成に資することを目的とした「よさのみらい大学」の開校等、ソフト面の充実にも努めている。

これら平成29年度の決算については、特に大きな指摘事項もなく評価できるものである。

一方、地方交付税の減額措置に加え、台風18号、21号の襲来による災害復旧費の多額な皆増などの要因もあり厳しい財政運営を強いられた。

このような中、手作りの「総合計画」の策定や「与謝野町まちづくり及び行政改革推進本部」の実効ある活用、町税をはじめ各種使用料等の収納向上を目的とした「町税等及び公共料金等収納・滞納整理特別対策本部専門部会」におけるワーキングの実施、また、新公会計制度の試行、水道・簡易水道会計の統合などに加え、個別事務事業の必要性や効果、効率性等を検証すべく事務事業評価の徹底を図る同シートの作成等を積極的に行っており、全職員が一丸となつて行政運営に当たろうとする姿勢が随所に見られ評価する。

なお、最近の社会情勢に鑑み、コンプライアンス体制の一層の充実が望まれる。

少子高齢化・人口減少の中、財政力が低下している当町において、地方自治法が定める「住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割」の遂行に向かって山添町長を先頭に一致結束し、英知を結集、工夫を凝らし、第2次総合計画に掲げる「人・自然・伝統 与謝野で織りなす新たな未来」の実現に向かって前進されることを期待する。

監査委員 田中 眞一
多田 正成



まちの話題をお届けします

●よさのみらい大学

視点を変えて見る歴史と地域の魅力

10月のよさのみらい大学は、リベラルアーツと地域づくり学部の2つの講座が実施されました。10月18日のリベラルアーツ講座では、日本史学者でベストセラー作家の呉座勇一氏を講師に迎え、ベストセラー著書で扱われた『応仁の乱』をテーマに、誰もが知る一般的な史実のほかに、同時代に生きた高僧2人の視点でみる応仁の乱について、分かりやすく講演されました。講演後の質疑応答でも、難解な歴史について、笑いを交えながらわかりやすく解説し、受講者



左／図解を多用し、理解しやすい講演 右／真剣なまなざしでの講演

●RUN伴 2018 京都

認知症について考える機会に

認知症の当事者や家族、支援者らが一緒にたすきをつなぎ、認知症に対する理解を広め、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指すイベント「RUN伴^{とも} 2018 京都」が10月28日、丹後2市2町で初開催されました。与謝野町では、やすらの里をスタートしグループホームよさのや京都府立医科大学附属北部医療センターなどを経由しゴールの阿蘇シーサイドパークを目指すコースを総勢80人以上のランナーが走り、たすきとともに認知症理解への思いをつないでいきました。



多くの応援を受け阿蘇シーサイドパークでゴールテープを切るランナー



左／身振りを交えた説明 右／ワークショップ前に親睦を深める受講者

は見識を広げる機会となりました。

10月21日には、全4回の地域づくり学部講座の1日目として、第1回、第2回の講座が開催されました。本年の地域づくり学部のテーマである移住定住について、地域の魅力化にフォーカスし、雑誌媒体をメインに地域とのつながりについての情報を発信している『TURNS』のプロデューサーである堀口正裕氏に講演いただきました。成功や失敗の具体的な事例紹介のほかに、移住希望者向けの魅力的な地域のあり方について、講演とワークショップが行われました。次回の第3回、第4回講座では、移住者と受け入れ側である地域の視点から、各自が何を実践していくべきかを検討し共有する予定です。



ミニコンサートも行われ会場を盛り上げていました

●大内峠紅葉まつり

絶景とともにイベントを満喫

10月21日、天橋立を横一文字に見渡せる大内峠一字観公園を会場に「第31回大内峠紅葉まつり」が開催されました。会場ではカラオケ大会やお宝さがし、やきとりやうどんなどを販売する模擬店が並び、子どもから大人まで楽しめる催しが行われました。訪れた人たちは秋晴れのもと、公園からの絶景を眺めながらイベントを楽しんでいる様子でした。

●三河内小学校 動物愛護教室

動物の生命の尊さを学ぶ

10月3日、三河内小学校の1、2年生の児童28人を対象に動物愛護教室が開催されました。教室では、京都府動物愛護センターの職員から身近な動物である犬の習性や特徴の講習を受け、犬と触れ合うときに注意することなどを学んだ児童たち。さらに、聴診器を使い自分自身の心音とうさぎの心音を聴き比べ、ヒトと動物の心音の速さの違いを学び、参加した児童からは「はじめてうさぎの心音を聴いたけど、こんなに早いとは思いませんでした」などの感想が聞かれました。



聴診器をうさぎにあて、心音を聴く児童

●与謝野町敬老会

会場が笑顔であふれました

10月17日に野田川地域、18日に加悦地域、19日に岩滝地域を対象とした「与謝野町敬老会」が野田川わーくばるで開催され、町内在住の高齢者の健康と長寿を祝いました。3日間で681人が出席され、長寿の方や米寿の方へお祝いとして記念品が贈られたほか、子どもたちによる歌やダンスなどのステージ発表や大正琴やオカリナ演奏、与謝野町認知症啓発DVDの上映などが行われました。



かえでこども園園児によるダンスで会場は温かい雰囲気に包まれました



12人がモデルを務めた着物ファッションショー。華やかな着物姿で来場者を魅了していました。

●きものでぶらり♪ちりめん街道

街並み、そして和装の魅力に触れる！

10月20、21日の2日間、ちりめん街道一帯で「きものでぶらり♪ちりめん街道2018」が開催されました。街道沿いではちりめん小物やばら寿司などが販売されたほか、浄福寺では着物ファッションショーや「京都から見る“与謝野の魅力”」をテーマとしたトークショーなども行われ、昔ながらの風情を残すちりめん街道は多くの来場者でにぎわいをみせました。



京都府警音楽隊とカラーガード隊による演奏が披露されました

●与謝野町地域安全パレード

地域の安全を呼びかけました

10月21日、与謝野町防犯推進協議会主催の「与謝野町地域安全パレード」が加悦庁舎周辺で行われました。晴天に恵まれる中、京都府警の音楽隊とカラーガード隊、与謝野町防犯推進協議会委員が中心となり、きものイベントでにぎわうちりめん街道を行進し、地域の安全や防犯について呼びかけを行いました。行進後には、加悦庁舎で音楽隊とカラーガード隊による演技・演奏の披露や警察車両の展示、警察犬の訓練披露で大いに盛り上がりしました。

**インフルエンザは
かぜの一種ではありません**

インフルエンザは、一般的な
かぜとは別の病気で、全身症状
が強く、時に、急に肺炎や気管
支炎、脳症など重症化して命に
かかわることもあります。子ど
も、高齢者、妊婦、ぜんそくや
慢性閉塞性肺疾患、心臓病など
慢性的の疾患をもっている方は、
症状が重くなりやすいのでより
注意が必要です。

かからないようにするために

▼外出後・食事前の手洗い、う
がいや習慣にしましょう。
▼人混みに出る時はマスクをし
ましょう。
▼流行時は、人混みに近づかな
いようにしましょう。
▼普段から栄養と睡眠を十分に
とり、抵抗力を高めておきま
しょう。

インフルエンザとかぜの違い

	インフルエンザ	かぜ
症 状	38℃以上の高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、のどの痛み、鼻水、咳、くしゃみ、全身けん怠感など全身症状	37～38℃ほどで低めの発熱、のどの痛み、咳、くしゃみ、鼻水などの部分的な症状
経 過	急激に進む、重症化することもある	ゆるやかに進む
潜伏期間	1～3日	2～5日
感染期間	1～7日	1～10日
感 染 力	強い	インフルエンザほどではない
感染経路	飛沫感染、接触感染、空気感染	飛沫感染、接触感染

※インフルエンザにかかっても熱や症状が出にくい方もあるので注意しましょう。

▼部屋の湿度や温度を保ち、定期的に換気をしましょう。
▼予防接種を受けましょう。
▼予防接種は、発症リスクを下
げ重症化予防に有効な方法であ
り、毎年受ける必要があります。
予防接種の効果がでるまでに2
週間～1ヵ月ほどかかり、効果
の持続期間は5ヵ月ほどです。
アレルギーなど基礎疾患のある
方は、医師と相談しましょう。

**インフルエンザに
かかってしまったら**

▼症状がはつきりしないことも
あるので、インフルエンザの流
行期はかぜ症状がある場合は、
受診をしましょう。受診の際は、
マスクを忘れない。症状が出て
から2日以内であれば抗インフ
ルエンザウイルス薬が効きます。
▼処方された薬は医師の指示ど
おりに最後まできちんと飲みま
しょう。
▼解熱薬は勝手に飲むと成分に
よって危険を伴うものがあるの
で医師の処方のもとに飲みま
しょう。
▼水分はこまめにとり、睡眠は
十分にとり安静にしましょう。
▼けいれん、呼吸困難、意識低

下など急に悪化することもある
ので注意が必要です。

**うつさないように
することも大切です**

かかってしまったら、とても
感染力が強いので家族を含め人
へうつさないようにすることが
大切です。

▼「咳エチケット」を守りましょ
う。咳やくしゃみが出る方は、
マスクの着用をしましょう。マ
スクをしていない時は、咳やく
しゃみが出る場合、手ではなく
ティッシュや袖口や肘の辺りで
口と鼻をふさぎ、顔を背け、2
m以上人から離れます。たんや
しぶきのついたティッシュやマ
スクはふた付きのゴミ箱へ捨て
ます。

▼居室を別にする方がよいです
が、1時間に1回程度、部屋の
換気をしましょう。
▼手洗い・うがいを心がけ、タ
オルの共有は避けましょう。
▼発症直前から発症後5～7日
までは、人にうつす可能性があ
ります。発熱後2日間は外出を
控えます。医師へ相談してから
学校や職場などへ復帰しまし
ょう。



カセットボンベの使い方間違っていますか？

秋も深まり自宅でカセットコンロを使う機会が増えてくと思います。皆さんは、カセットコンロに使うカセットボンベを正しく使っていますか？ 今回はカセットコンロの危険な使用事例と正しい使い方についてご案内します。

禁止する事例

■ 調理以外の用途に使用しない

調理以外の用途、木炭や練炭の火起こしなどに使用しないでください。

カセットボンベが過熱され、爆発する恐れがあります。



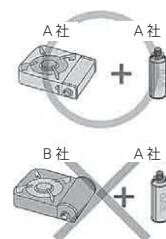
■ 大きな調理器具を使用しない

コンロをおおうような大きな調理器具は使用しないでください。熱がこもりやすくなり、カセットボンベが過熱され、爆発する恐れがあります。



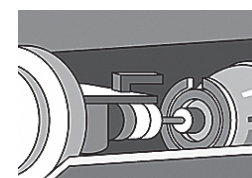
必ず守っていただくこと

■ コンロに指定されているボンベを使用する



必ずご使用のカセットコンロ専用のカセットボンベを使用してください。ガス漏れや火災の原因となりますので、そのほかのカセットボンベは絶対に使用しないでください。

■ カセットボンベは表示どおり正しくセットする

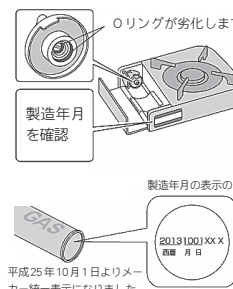


カセットボンベの切り込み凹部をカセットコンロのボンベ受けガイド凸部に合わせてセットしてください。誤った装着はガス漏れや火災の原因となります。

■ コンロやカセットボンベも経年劣化します

古いカセットコンロを使用している場合、ガス漏れなどの事故が発生する可能性があります。10年を目安に古いものは買い換えましょう。

また、カセットボンベにサビが発生している場合は、その部分からガス漏れの無いことを確認して、できるだけ早めに使い切ってください。



■ 最後まで使い切り、町の指定日に出しましょう

空になったカセットボンベでも微量のガスが残っています。火が消えるまで使いきってから出してください。ガスが残ったまま廃棄した場合、ゴミ収集車や施設内でガスもれが発生し、火災が起こったり、清掃員の方たちがケガしたり、施設破損の原因となったりしますので絶対にやめてください。



求む！ 消防団員



与謝野町消防団では、若い団員の増加を目指して積極的に新入団員を募集しています。地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わず、地域に密着し町民の安全と安心を守る重要な役割です。消防団員は、町内に居住し、18歳以上で健康な方であればどなたでも入団できます。

あなたも消防団員として活動してみませんか？

☎ 防災安全課 ☎ 43-9011

今年の夏休み、イギリスに帰国する飛行機の中で、私は韓国映画『リトル・フォレスト』（同名の日本漫画が原作）を見て過ごしました。この映画は、田舎の山村から都会に出た若い女性が、再び村に戻って自給自足に近い生活をする話です。

私は、この映画の主人公に自分自身を重ね合わせていました。私は、都会で生まれ育ちました。ALTになることを決めたとき、日本の地方に配属されることは頭では分かっていましたが、いざ暮らしてみると全く心の準備ができていませんでした。少ない娯楽や近所にスターバックスがないこと……。皆さんにとって、これらは薄っぺらな不満のように聞こえるかもしれませんが、実際そうかもしれません。しかし、都会に住んでいた者にとって、利便性の欠如は心の活力を奪う困難でやっかいな問題です。時間とともに、私は自分自身を変えなければなりません。

状況そのものを変えることができないならば、考え方を考えることができます。私は都会での生活では決して得られないものに価値を見いだすことにしました。陽光が降り注ぐ朝の水田、知らない人と交

わすあいさつ、ふとした瞬間に窓から見る美しい大江山。考え方を变えることで得られる素晴らしいものがたくさんあるにもかかわらず、実際、ほとんどの若者は地方で暮らす選択をしません。

日本は都市の人口増加と地方の人口減少に直面している唯一の国ではありませんが、世界的に見てもそのスピードは顕著です。そのため、西欧のメディアでも日本の状況は注目されています。日本で起こることは、近い将来自分たちの国でも起こるからです。地方での生活がどんなに良いものであっても、私のように実際に体験してみないことには分かりません。具体的な政策、例えば仕事と生活基盤の保証は若者が地方に定住することを促進します。

しかし、問題は複雑でそれゆえ解決策も一つだけではないと思います。このような問題に直面している与謝野町のような地方の町にこそ、新しく革新的な解決策を作り出すチャンスがあるのです。世界は遠く離れており、与謝野町のような地方は世界とつながっていないように思えるかもしれません。しかし、世界は皆さんの住むこの町のことを絶えず注目しているのです。



東京は世界一人口が多いことでも有名です

公民館訪問 [第52回 岩屋地区公民館]

さて、新しく実施したのは、そば打ち体験、クラフトバッグ作り、はるばるゆうむです。



そば打ち体験の様子



クラフトバッグ作りの様子

岩屋地区公民館は、館長、主事、男性5人、女性4人の運営委員で構成されています。講座は永く続いているものを中心に、あいだに新しい取り組みを入れ、10〜11ほど実施します。麻雀大会は11回目を数え世代間交流にふさわしく、20〜80代と幅広く、これが一番の楽しみで回覧が回るや申し込まれる方、「年何回でもやってえなあ」との声もありました。最長回数の文化研修は20年以上開催している人気講座です。町マイクロボスの150km圏内制限があり、もう行き場がないと困っていました。普段行けそうで行けない近場に活路を見いだしました。下見も充分に、ゆっくりとした行程で行け、ご高齢の方にも参加していただき

これはブリザードフラワールの続きでトータル8回目となります。そば打ち体験は「うどんじゃねえのか」と冷やかされ、和気藹々うちに粉まみれで終了しました。クラフトバッグ作りは、済んでみると参加された方の周りで意外に反響があり生徒さんが先生となり、もう一個作ったり、教えたりとなりました。新しい講座はいろんな意味で冒険です。内容もさることながら人集めをどうするか、どんな風に告知するか、幸い運営委員の女性陣は若いお母さんで行動力があり率先して参加され、その友達のまたその友達へと輪が広がっています。もちろん男性陣にも縁の下から支えてもらって活動しています。

図書館へ行こう！

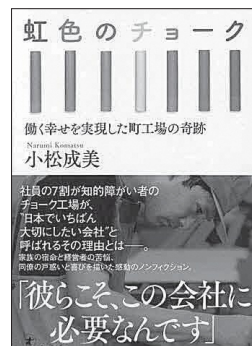
勤労感謝の日

11月23日は勤労感謝の日。ニュースなどで「ブラック企業」「働き方改革」といった言葉を耳にするなど“働く”ことについて、改めて考えさせられる本をご紹介します。

『虹色のチョーク 働く幸せを実現した町工場の奇跡』

小松成美／幻冬舎

50年以上にわたり障害者雇用を続け、現在では社員



の約7割が知的障害者である日本理化学工業。チョーク製造で業界トップシェアを誇り、“日本でいちばん大切にしたい会社”と呼ばれる現在に至るまでの道のりが書かれた、働くこと、人の役に立つことが誰にとっても喜びであるという経営者の言葉が心に残る感動のノンフィクション。

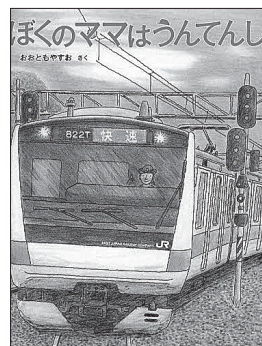
今月の 新着図書

一般書 ●『るるぶにっぽんの博物館』JTBパブリッシング ●『TAS特別師弟捜査員』中山七里／集英社 ●『ルーツがわかる名字の事典』森岡浩／大月書店 ●『影ぞ恋しき』葉室麟／文藝春秋 ●『人生100年の習慣』NHKスペシャル取材班／講談社 ●『おいしいかわいい料理写真の撮り方』佐藤朗／イカロス出版 ●『語らなかつた女たち』鈴木政子／本の泉社

『ぼくのママはうんてんし』

おおともやすお／福音館書店

のぞむは、電車の運転士をするママのお誕生日をお



祝いするために、看護師をしているパパと相談して、ピンクのハートの旗を作りました。運転中にはどんな小さなことも見逃さないママに見えるように、ママが運転する電車が通る橋の上から旗をふるのです。ところが、ママの誕生日の朝に思いがけないことに……。

児童書 ●『なまえをつけて』谷川俊太郎／講談社 ●『パンのずかん』大森裕子／白泉社 ●『つくってかざろう！きせつのおりがみ 全4巻』学研プラス ●『気がつけば動物学者三代』今泉忠明／講談社 ●『アッチとボンのいないいないグラタン』角野栄子／ポプラ社 ●『ねこの町の本屋さん』小手鞠るい／講談社 ●『あいことばは名探偵』杉山亮／偕成社 ●『すきま地蔵』室井滋／長谷川義史／白泉社

平成30年度上半期（4～9月）の貸出数 Best 3をご紹介します！

【一般書】

- 第1位『ねこねこ日本史』そにしけんじ／実業之日本社
第2位『おんなの窓』伊藤理佐／文芸春秋
"『ハートブレイカーズ』パメラ・ウェルズ／アスキー・メディアワークス
第4位『魔力の胎動』東野圭吾／KADOKAWA

【児童書】

- 第1位『トキメキ☆星うらない』小泉茉莉花／ポプラ社
第2位『おしりたんてい いせきからのSOS』トロール／ポプラ社
第3位『おしりたんてい ふめつのせつとうだん』トロール／ポプラ社
"『おしりたんてい むらさきふじんのあんごうじけん』トロール／ポプラ社

雑誌リサイクルのお知らせ
加悦分室… 11月10日（土）～15日（木）
午前10時～午後6時
詳細については、広報よさの10月号または館内掲示ポスターや図書館ホームページでご確認ください。

Info 図書館おはなし会

- 〔加悦〕11月10日（土）午前10時30分～
〔野田川〕11月17日（土）午前10時30分～
〔本館〕12月1日（土）午後2時～
（クリスマスお話し会）



江山文庫読書会 与謝野晶子の童話を読む

第79回「菊の着物」

- 日時 11月16日（金）※11月は第3金曜日
午後1時30分～3時
■問い合わせ先 江山文庫 ☎ 43-2180

●問い合わせ先／与謝野町立図書館 ☎ 46-2451 加悦分室 ☎ 43-0376 野田川分室 ☎ 43-0087
●開館時間／午前10時～午後6時 ●休館日／毎週月曜（本館・加悦分室）、毎週火曜（野田川分室）、毎月最終木曜（共通）

入賞作品 20 点が決定！

第 11 回阿蘇海等環境改善啓発ポスターコンクール

問 住民環境課 ☎ 43-9030



教育長賞の城崎和さんの作品



町長賞の百鳥生海さんの作品

阿蘇海の水质汚濁が深刻化している今、京都府、関係市町村、地域住民がさまざまな分野で協働して環境改善に取り組んでいます。その啓発の一環として、与謝野町内の小学校児童の皆さんから阿蘇海や近隣河川の環境改善を推進する啓発ポスターを募集したところ、町内

全小学校から154人の応募がありました。審査の結果、入賞作品20点が決定しました。これらの作品は啓発カレンダーにし、全戸配布する予定です。入賞作品と入賞者は次のとおりです。（敬称略）

【町長賞】
百鳥 生海（山田小4年）

【教育長賞】
城崎 和（岩滝小5年）

【入選】
丸山 ゆめ（加悦小4年）
今井 心美（加悦小4年）
松森 美咲（加悦小4年）
北風 和未（加悦小4年）
井崎 咲希（加悦小4年）
福島 龍希（与謝小4年）
大槻 俊介（与謝小4年）
尾関 真帆（岩滝小5年）
佐藤 希央（岩滝小5年）
上野 史恵（岩滝小5年）
上野 史帆（岩滝小5年）
大松 美結（岩滝小5年）
半海 空亜（岩滝小5年）
田中 蒼都（三河内小4年）
太田 梨晴（三河内小4年）
岡田 陽介（三河内小4年）
松本 ひとり（市場小4年）
加畑 乙莉（市場小4年）

大石千津子さんが特別賞を受賞！

京都まちとみどり写真コンクール

問 建設課 ☎ 43-9014



京都府都市計画協会が主催、府などが共催する第34回「京都まちとみどり写真コンクール」の特別賞「与謝野町長賞」に与謝野町在住の大石千津子さんの作品が選ばれました。表彰式は10月6日に京都市内の梅小路公園で行われましたが、台風の影響により大石さんはやむなく表彰式を欠席。しかし、10月12日に役場本庁舎で伝達式を行い、山添町長から大石さんに表彰状と与謝野町からの副賞「まめっこ米10kg」、そして都市計画協会からの副賞などが手渡されました。大石さんは受賞作品につ



特別賞の大石千津子さんの作品

いて、「毎朝ウォーキングする香河川沿いの風景。この10年くらいは特に美しいと感じていました。その風景が水面に写る姿を撮りたいと思っていましたが、農業用の井堰が上げられて流れが緩やかになるわずかな期間、それも抜けるような青空と透明な空気が不可欠だったため、なかなか実現しませんでした。やっと撮れた写真が受賞できてうれしい。なにより、自分が美しいと感じたものを、ほかの人も美しいと感じてくれたことがうれしいです」と話し、受賞の喜びを表現されました。

大石さんの作品を含め約30点の受賞作品を集めた「第34回京都まちとみどり写真コンクール作品展」を11月14日から22日まで（最終日は午前中のみ）、知遊館1階ロビーで開催します。京都府内のまちの美しさを切り取った作品をみなさまでぜひご覧ください。

与謝野町オリジナル認知症啓発 DVD を制作しました！

認知症啓発

問 福祉課 ☎ 43-9021



このたび、認知症疾患医療センターをはじめとする医療・介護の関係機関、丹後地域オレンジロードつなげ隊、認知症地域支援推進員および与謝野町が協力し、認知症への理解と関心を高め、認知症の方を支える地域づくりを目的に「与謝野町オリジナル認知症啓発DVD（与謝野黄門編）」（以下、「認知症啓発DVD」）を制作しました。認知症啓発DVDは3部構成で、第1部は与謝野町を旅するご老公（Ⅱ与謝野黄門）一行がある騒動をきっかけに認知症への気づき、不安を抱えながらもみんなを支えていくというとする活劇と、第2部では認知症の症状や治療について与謝野町の施策の紹介、第3部では認知症当事者の出演から認知症



ぜひ、ご覧ください！

になることは恥ずかしいことではなく、隠すことでもない、自分らしくありのままで生きていく、というメッセージを込めた内容となっています。認知症啓発DVDは動画共有サイト「YouTube」(サイト内で「与謝野町認知症啓発」と検索してください)でご覧いただけるほか、役場各庁舎住民係でDVDダビング申請を受け付けています(空のDVDおよびダビング代300円が必要)。

（仮称）ケースデンキ与謝野店出店に係る意見書を提出

与謝野町大規模小売店舗立地検討委員会による意見集約

問 商工振興課 ☎ 43-9012



与謝野町大規模小売店舗立地検討委員会では、与謝野町石川地区に進出予定の（仮称）ケースデンキ与謝野店の出店に関し、周辺地域の生活環境の保持の見地から、地元説明会を含め3回にわたり検討委員会が慎重に協議を重ねてきました。10月9日、役場応接室で、小長谷会長から山添町長へ交通安全対策、排水対策、農地対策、相談窓口の設置要望など4項目にわたる意見書が提出されました。今後、この検討委員会の提言を町の意見として、知事宛に提出することとなります。



小長谷会長から町長に意見書が手渡されました

職員人事異動のお知らせ

10月1日付の町職員人事異動をお知らせします。
(括弧内は前所属)

■税務課

主事 伊達隆宏

■福祉課

主査 今澤 由美子

■農林課

主事 森岡 佳祐

■観光交流課

主査 谷口 貴章

■学校教育課

主事 西脇 公人

■かえでこども園

保育士 小巻 智栄

■加悦保育園

主査保育士 長島 雅子

■与謝保育園

主査保育士 白数 聖子

(与謝保育園主事補)

今月の納期

11/30（金）まで
国民健康保険税 第6期
介護保険料 第6期

滞納税相談窓口

納期を過ぎた町税の納付相談窓口
京都地方税機構 丹後地方事務所
京丹後市役所 大宮庁舎 3階
☎ 0772-68-1041

与謝野町役場
☎ 43-9000（代表）

総務課
☎ 43-9010
防災安全課
☎ 43-9011
商工振興課
☎ 43-9012
会計室
☎ 43-9013
建設課
☎ 43-9014
企画財政課
☎ 43-9015
観光交流課
☎ 43-9016

加悦庁舎
☎ 43-9001（代表）

税務課
☎ 43-9020
福祉課
☎ 43-9021
保健課
☎ 43-9022
農林課
☎ 43-9023
子育て応援課
☎ 43-9024
教育委員会 学校教育課
☎ 43-9025
教育委員会 社会教育課
☎ 43-9026
議会事務局
☎ 43-9027
CATV センター
☎ 43-9028

野田川庁舎
☎ 43-9002（代表）

住民環境課
☎ 43-9030
上下水道課
☎ 43-9031



地域おこし協力隊通信③⑤

与謝野ホップ生産協力担当 好地 史隊員

☎ 農林課 ☎ 43-9023

与謝野町地域おこし協力隊のホップ栽培とクラフトビール関係に携わっている好地史（うちかし）です。

秋も深まり気温がグッと下がってまいりましたが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。私はとてもいいです、夏から秋にかけての気温の変化で少し体調を崩してしまいました（自宅でお腹を出して寝ていたからです）。

さて、夏も終わり、与謝野町内のホップ収穫がすべて終わりました。今年の気象はホップ栽培にも少なからず影響があったかと思いますが、生産者の皆さんの頑張りもあり、昨年よりも収量を上げることができました。また、今年から自分で管理する小さなホップほ場も与えていただきました。



ホップ（品種：Cascade）

現在、与謝野町内で栽培されているホップは19品種もあります。

アメリカ原産の品種が7品種、ヨーロッパ（イギリスやチェコなど）原産の品種が11品種、日本原産の品種が1品種です。私はといいますと19品種ある中の3品種を栽培しております。品種名はCascade（カスケード）、Centennial（センテニアル）、Columbus（コロンバス）というアメリカ原産の品種です。品種一つ一つにキャラクターがあり、どの品種をどのビアスタイル（広報よさの5月号参考）に使うかによって香りや苦み、ビールそのものの個性が変わります。例えば、ペール・エールというビアスタイルにCascadeだけを使つたものと、Columbusだけを使つたものでは全く違った香りや苦みのペール・エールになります（ビールに使う原料によっても味や香り、苦みが変わります）。同じビアスタイルなのにホップの種類を変えるだけで違ったキャラクターになる場所があります。

※1. ビールフェスティバル（ビールのお祭り）のこと。全国にはさまざまなビールフェスティバルがあります。また、ドイツのオクトーバーフェストが有名で、日本でもオクトーバーフェストがあります。

※2. ブルワーは醸造家の事を指し、ブルワリーは醸造所のことを言います。



不法投棄は犯罪です！！

☎ 住民環境課 ☎ 43-9030

私たちの町は、大江山連峰の山並みと野田川によって肥沃な平野が広がり、四季折々の豊かな自然に恵まれています。が、残念ながら、峠や山林、河川など町内各地のさまざまな場所で、心無いごみの不法投棄が後を絶たない状況です。

不法投棄は、誰が見ても大変身勝手な行為で、その影響は、景観を損ねるのはもちろん、悪臭や害虫など環境も悪化します。

特に平成30年度の不法投棄は例年に比べても非常に多く、与謝野町内ですでに7件の不法投棄者が検挙されています。

不法投棄の多くは生活ごみであり、簡単にごみ分別でき、収集に出せるごみがほとんどで、日ごろからごみの適切な処理を行えば、不法投棄をする必要もありません。



ごみの不法投棄は犯罪行為であり、空き缶などのポイ捨ても含め法律（廃棄物処理法第16条）に違反すると、5年以下の懲役もしくは1千万円（法人は3億円）以下の罰金が併科される場合があります。これからも不法投棄の根絶に向けて引き続き不法投棄のパトロールを強化していきますが、皆さんも「きれいなまち」「住みやすいまち」を目指し、不法投棄は「しない」「させない」を合言葉に不法投棄防止にご理解ご協力をお願いします。

9月入札結果

入札日	工事名	場所	業者数	落札業者名	予定価格 (千円/税抜)	最低制限 価格 (千円/税抜)	落札金額 (千円/税抜)	落札率 (%)	工事期間
9/18	有熊川河川災害復旧工事（29 災 3303）	加悦奥地内	2 者	株式会社丸正組	11,251	9,889	10,750	95.55	H30/9/26 ～ H31/3/29
9/18	有蓋 40 m ³ 級防火水槽新設工事（与謝地内）	与謝地内	1 者	江笠建材株式会社	9,316	8,269	9,310	99.94	H30/9/28 ～ H31/1/31
9/18	塚本線側溝整備（その2）工事	上山田地内	3 者	有限会社石田建設	7,633	6,714	6,714	87.96	H30/9/26 ～ H31/1/31
9/18	町道田尻線道路改良関連配水管布設替工事	加悦奥地内	1 者	株式会社三野工務店	5,580	4,931	5,560	99.64	H30/9/27 ～ H30/12/20

町内に配布している
広報誌には掲載しています

お悔やみ
（敬称略）


町内に配布している
広報誌には掲載しています

まちのうごき
平成 30 年 9 月末現在
人 口 21,882 人（+2）
男 10,448 人（+6）
女 11,434 人（-4）
世帯数 9,130 戸（+10）
※括弧内は前月比

※この欄で紹介する出生とお悔やみは、9月16日から10月15日までの届け出分です。また、役場窓口で届出の際に希望された方のみを掲載しています。

こども園・保育所（園）前期入園入所募集のお知らせ（4～9月入園入所）

平成31年4月～9月の間に入園入所を希望される方は、この期間に必ずお申し込みください。

対象施設 かえでこども園・かやこども園（仮称）・のだがわこども園（仮称）・桑飼保育園・山田保育所・石川保育所入園入所基準 ①入園入所日において、町内に住民登録がある児童

②同居親族のいずれもが勤務などにより保育が必要な児童

年齢基準（全施設）
満10カ月以上の乳児および幼児

■4月入園入所
～平成30年6月1日生まれ

■5月入園入所
～平成30年7月1日生まれ

■6月入園入所
～平成30年8月1日生まれ

■7月入園入所
～平成30年9月1日生まれ

■8月入園入所
～平成30年10月1日生まれ

■9月入園入所
～平成30年11月1日生まれ

☎ 11月5日（月）～22日（木）の間に、子育て応援課、幼稚園、こども園、各保育所（園）にある申込書に必要事項を記入の上、子育て応援課または各施設へお申し込みください。

注意事項 現在、保育所（園）・幼稚園

から認定こども園への移行に向けた取り組みを進めています。詳細は「入園入所案内」をご確認ください。

※かやこども園（仮称）は現・加悦保育園園舎ののだがわこども園（仮称）は現・市場保育園園舎で開園予定です。

☎ 子育て応援課 ☎ 43・9024

平成30年度与謝野町人間ドック事業

与謝野町では、与謝野町国民健康保険および後期高齢者医療制度の加入者を対象に、病気の予防や早期発見、早期治療と健康管理を図るため、人間ドックの費用の一部を補助しています。なお、検査項目は、特定健診に基づいた内容となっています。

利用者の資格 以下①～④すべてに該当する方

①町民健診を今年度受けていない方

②国民健康保険税や後期高齢者医療保険料を完納している世帯に属する方

③国民健康保険に加入の方は、30歳以上の被保険者

④同一年度内に当該事業の利用がない方

健診科目

■基本健診科目
■オプション科目（PET検査、前立腺がん検診、乳がん検診、子宮がん検診、骨密度検診など）

費用負担 基本健診は費用の9割の額を町が負担しますので、残りの1割の額を利用者が退院の際、医療機関にお支払いください（基本健診では4万円程度が費

用総額となるので、利用者は4000円程度お支払いいただくことになります）。ただし、オプション科目は7割の額を町が負担しますので、残りの3割の額を利用者に負担していただきます。

手続きの流れ

①利用を希望される方は保健課までお越しください。健診日時や医療機関等の調整を行い、利用申込書を記入・提出していただきます。

②後日、人間ドック利用券を送付しますので、利用日に利用券を医療機関へ持って行ってください。

人間ドック実施の医療機関 京都府立医科大学附属北部医療センター、市立福知山市市民病院、京都ルネス病院、丹後中央病院、舞鶴赤十字病院、いわさく診療所、京都予防医学センター

その他 人間ドックの受診は3月まで可能です。また、年度途中で内容が変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

☎・☎ 利用を希望される方は12月28日（金）までに保健課（☎ 43・9022）までお越しください。

水道メータ取り替えのお知らせ

町内に設置されている水道メータのうち、平成32年3月までに検定切れとなる水道メータを次の施工業者が順次、取り替え業務にあたりますので、ご理解ご協力をお願いします。

期間 11月1日（木）～平成31年1月31

日（木）
施工業者

▼(株)鈴木建設：加悦興、算所、加悦金屋、与謝の一部、滝

▼(株)山田電気商会：後野、与謝の一部、温江、明石、香河、三河内、岩屋

▼(株)小川設備：弓木、岩滝、男山上山田、下山田

▼足立石油(株)：幾地、四辻、石川

注意事項 取り替えの際は、作業員証を携帯した施工業者がお断りをしてから作業することを原則としています。留守のお宅についてはお断りせずに取り替えさせていただく場合がありますので、ご了承ください。不良な止水栓・メータボックスの取り替え、宅内の漏水修理については、使用者様の負担になりますので、ご了承ください。取り替え終了後、一時的に濁り水が出る恐れがありますが、ご了承ください。

☎ 上下水道課 ☎ 43・9031

空家の適正な管理をお願いします

空家の所有者・管理者は、空家が周囲に悪影響を及ぼさないよう、自らの責任と負担により適正に管理しなければならぬことになっています。管理不全な空家が原因で、近隣住民や通行人などに損害を与えた場合、被害者などから賠償責任を問われることがあります。近隣にある管理不全な空家でお困りの方、また空家の所有者・管理者の方で、管理方法などについてお悩みの方は「空家総合相

談窓口」までご相談ください。

空家総合相談窓口 総務課（空家対策担当） ☎ 43・9010

「女性相談」を実施します

家庭内の問題、夫や恋人からの暴力、職場内の問題、人間関係など、女性が抱えるさまざまなしんどさや悩みを、女性の相談員が聞き、一緒に考えて問題解決のお手伝いをします。秘密は厳守しますので、安心してご相談ください。相談は無料です。

相談日 12月4日（火）午後1時～4時

※当日申し込みもできますが、前日までの予約が0件の場合は中止します。

相談方法 1人50分程度、要予約（定員3人）

相談員 女性フェミニストカウンセラー

場所 知遊館

☎ 企画財政課 ☎ 43・9015

「与謝野町ふるさと納税」返礼品出品事業者説明会の開催について

日時 12月4日（火）午後1時～3時

場所 知遊館

☎・☎ 参加要件があるため、詳細については企画財政課（☎ 43・9015）へお問い合わせください。なお、11月30日（金）までに申し込みがない場合、説明会は中止させていただきます。

「ふるさと交流会」の案内

障害などがあるため、普段外出する機

会の少ない方、ご家族と一緒に出かけませんか？

日時 12月13日（木）午前9時半～午後4時ごろ

行き先 兵庫県豊岡市 ※移動は町マイクロバスを使う予定にしています。

対象者 20～65歳で、障害者手帳を持つ人もしくは病気などで外出困難な人。家族同伴もOK。※定員20人。※ボランティアスタッフも募集中

参加費 一人500円

☎・☎ 11月30日（金）までに福祉課（☎ 43・9021）へご連絡ください。

※介助が必要な方、ボランティア希望の方は、その旨を連絡してください。

※昼食は出右そばの予定ですが、アレルギーなどある方は申し込み時にお伝えください。うどんなに変更可能です。

「なんでも話してえよく傾聴こころcafe」のご案内

「傾聴」とは、耳を傾け、相手の心に寄り添って話を聴くことです。予約なしで参加していただけます。

日時 11月30日（金）

・午後1時半から 住職のお話

・午後1時40分～3時半 傾聴茶話会（受付は午後1時から）

場所 玉田寺（〒木1977番地）

対象者 おおむね65歳以上の方、または一人暮らしや介護をしている方。

内容 傾聴ボランティアがお話を聴きます。

主催 与謝野町社会福祉協議会

与謝野町難聴者教室のご案内

聴こえにくいために、日常生活の中で不便を感じておられることはありませんか。ご家族や関係者のみなさまもお気軽にご参加ください。

日時 12月5日（水）午後1時半～3時半

場所 与謝郡聴覚言語障害センター

内容 きこえのミニ講演、レクリエーション ※参加費無料

☎・☎ 11月28日（水）までに、与謝郡聴覚言語障害センター（☎ FAX 46・5390）または福祉課（☎ 43・9021、FAX 42・0528）へお申し込みください。

※送迎をご希望の方は申し込みの際にお申し出ください。

「かかりつけ薬局」「お薬手帳」を活用しましょう

普段服用している薬について相談したいとき、みなさんはどうしていますか？複数の薬を服用するときは、薬の重複や飲み合わせに注意する必要があります。「お薬手帳」に記録し、それを薬剤師や医師、歯科医師に見てもらうことで、薬の重複や相互作用が起ることを防ぐことができます。また、いつも利用する薬局を「かかりつけ薬局」とすることで、

母子寡婦福祉会「ケーキデコレーションとハーバリウム作り」を開催します

日時 12月16日（日）午後1時～3時

場所 岩滝ふれあいセンター

内容 ▼ケーキデコレーション（午後1時から）▼ハーバリウム作り（午後1時45分から）▼懇親会（午後2時半から）

対象者 与謝野町内のひとり親家庭の親子および母子寡婦福祉会会員

参加費 ▼ケーキデコレーション500円/個 ▼ハーバリウム500円/1家庭1個

持ち物 ケーキデコレーション用クリームを塗るヘラ

☎・☎ 12月5日（水）までに、与謝野町母子会会員の方は地区母子会役員にお尋ねください。会員外の方は子育て応援課（☎ 43・9024）へ。

なるせわかパステル画展のお知らせ

日時 11月23日（金）～12月20日（木）午前9時～午後5時 ※月曜日休館

場所 知遊館展示室 ※入場無料

内容 パステルの素材をいかした心温まる作品を展示します。作家は岩滝在住、第53回福知山市展で市展賞を受賞。

☎ 知遊館 ☎ 46・2451

PHOTO
TOPICS

第 11 回 与謝野町駅伝競走大会



初優勝となるゴールテープをきった岩滝チーム

岩滝チームが初優勝！ 市場Aチーム、惜しくも 11 連覇叶わず。

10月6日、石川小学校をスタート、岩滝体育館前をゴールとする町内周回コース総距離 26.2 km、16 区間で第 11 回与謝野町駅伝競走大会が行われ、町内の全小学校区から 10 チーム（市場は 2 チーム）が参加し、沿道から届けられる応援を力に変え、総勢 160 人のランナーが懸命にたすきをつなぎ、ゴールを目指しました。

今年は岩滝、市場A、山田が上位争いを繰り広げましたが、スタートから粘り強く首位を守った岩滝が、2 位市場Aに 1 分 11 秒の差をつけ、第 1 回大会から 10 連覇を果たしてきた市場Aの大会 11 連覇を阻止し見事初優勝を果たしました。

また、市場Aと山田が 2 位争いを繰り広げ、9 区を終えた時点で市場Aと 30 秒以上あった差を 10 区で山田が 1 秒差まで追い上げレースは接戦に。しかし、11 区で再び市場Aが山田を突き放し、そのまま 2 位でゴールテープを切りました。

接戦だった今年のレース。チーム順位、区間賞は下記をご覧ください。

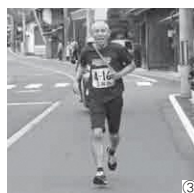
●チーム順位

優勝 岩 滝
2 位 市場A
3 位 山 田
4 位 与 謝
5 位 加 悦
6 位 三河内
7 位 桑 飼
8 位 岩 屋
9 位 石 川
オープン 市場B

●区間賞（敬称略）

1 区 寺立 力（岩滝）
2 区 時田 元太（市場A）
3 区 滝野 博文（加悦）
4 区 半海 未空（岩滝）
5 区 井田 拓磨（山田）
6 区 井上 新大（岩滝）
7 区 山添百々香（市場A）
8 区 山添 裕史（岩滝）
9 区 井上 敦至（岩滝）
10 区 白数 正文（山田）
11 区 平井 迅（市場A）
12 区 長島 弘晃（山田）
13 区 田中 千紘（与謝）
14 区 中西 陸（岩滝）
15 区 太田 尚兵（市場A）
16 区 伊藤 歩（岩滝）

記録の詳細は、
町体育協会 ☎
46-6006 まで。
※「同」は同タ
イム



①トップでたすきをつなぐ岩滝のランナー ②優勝した岩滝チーム ③最終 16 区を懸命に走る三河内のランナー ④たすきを受け駆け出す岩屋のランナー ⑤与謝野路を走る加悦のランナー ⑥ 10 区終盤で接戦を繰り広げた市場Aと山田のランナー ⑦見事なたすきリレーをみせる市場Bチーム ⑧最後の力を振り絞り走る与謝のランナー ⑨たすきを受け前を追う石川のランナー ⑩たすきをつなぐため懸命に走る桑飼のキッズランナー

